

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(学術)甲第163号	氏名	霜川 修
学位審査委員	主査 山下 俊一 副査 松山 俊文 副査 増崎 英明		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、正常核型であった原因不明の流産内容物を対象としてゲノムコピー数異常の検出をマイクロアレイCGH法により明らかにするものであり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 全 2173 個のBACクローンを選択してDNAを抽出し、種々確認作業後にマイクロアレイをデザインし、解析対象である凍結絨毛組織DNAを蛍光ラベル後、正常DNAとハイブリシ、その蛍光強度比を計算し統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、正常核型 20 例中 2 例に流産の原因と考えられる欠失を確認し、12 例、9 座位に流産とは関係が薄いコピー数多型を検出した。染色体検査では検出困難な染色体構造異常をマイクロアレイCGHで明らかにし、今後の生殖遺伝学的研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文はゲノム医科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（学術）の学位に値するものと判断した。</p>			